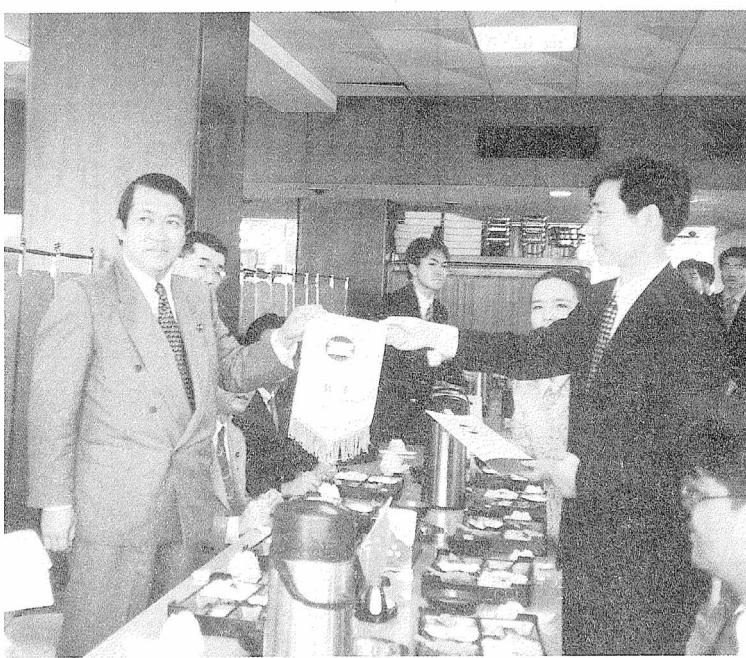


# 友愛

機関紙「友愛」  
発行人：川手正一郎  
編集人：萩原直三  
毎月一回 10日発行  
講読料  
年間 3,000円  
1部 300円  
FAX 03-5684-3188  
印刷所：平野プリント



鳩山邦夫民主党副代表と王根宝団長

「友愛」（財・日本友愛青年協会）では、去る五月六日から八日まで、南京市人民政府派遣・南京市青年連合会訪問代表団一行七名（団長・王根宝南京市青年連合会副会長）の受け入れを行った。鳩山邦夫民主党副代表をはじめ、川内博史衆議院議員、近藤昭一衆議院議員、小川勝也参議院議員、酒井誠中友好協会事務局長、川手正一郎鳩山会館館長（財團常務理事）、友愛婦人会の方々、友愛学生部の諸君等、「友愛」のすべての力で、心の通い合った眞の交流を展開した。当団は、友愛婦人会の方々による「日本文化『茶道』」の「体验指導」もあつて、代表団の皆さんには大好評であった。

## 鳩山邦夫・由紀夫両代議士の「友好への熱意」

今回の代表団が来日した直接の御縁は、昨年（平成九年）九月一日に、鳩山邦夫団長のもと、民主表団（葵海金団長・孫文学秘書代

主党訪中団（「友愛」から多数参加）が、南京を訪問したことによる。だが、その前に、同年一月二日に日中友好協会の招きでお見えになった「南京城墙修復合作代表団」（葵海金団長・孫文学秘書代

長）と、鳩山由紀夫民主党代表（当時）との、日中青年友好について懇談なさいたことも大きなきっかけである。

## 歴史認識から恋愛観まで、活発な討論



鳩山民主党副代表・王団長・小川勝也議員・川内博史議員・中国代表団の方々。

成田へは、事務局の小松さんが迎えに行き、宿舎到着後は、そのまま小松さんのご主人が運転する「友愛マイクロバス」で、横浜華街から、東京の夜景まで案内してもらった。五月七日の文部省では、尾山市長と、東京の夜景まで案内した。五月七日の文部省では、尾山市長の歓迎の挨拶の後、結城社会教育官による「わが国の青少年教育」全般についての説明があり、それについての質疑が行われた。統一して、総務省青少年対策本部では、渡辺参事官より、今日の青少年の、例えば、犯罪の低年齢化や、悪質化などにも触れた説明があった。

第二議員会館では、代表団が迎えて到着したにもかかわらず、鳩山副代表が出迎えてくれ、そのまま地下の食堂に行き、川内議員、近藤議員、小川議員、手塚民主党政策委員及び学生諸君らと昼食を共にした。鳩山副代表は歓迎の挨拶の中で、南京を訪問した時の礼を述べ、日中青年交流の重要性を語った。

鳩山副代表は歓迎の挨拶の中で、南京を訪問した時の礼を述べ、日中青年交流の重要性を語った。鳩山副代表は歓迎の挨拶の中で、南京を訪問した時の礼を述べ、日中青年交流の重要性を語った。鳩山副代表は歓迎の挨拶の中で、南京を訪問した時の礼を述べ、日中青年交流の重要性を語った。

鳩山副代表は歓迎の挨拶の中で、南京を訪問した時の礼を述べ、日中青年交流の重要性を語った。鳩山副代表は歓迎の挨拶の中で、南京を訪問した時の礼を述べ、日中青年交流の重要性を語った。鳩山副代表は歓迎の挨拶の中で、南京を訪問した時の礼を述べ、日中青年交流の重要性を語った。

# 日中友愛交流を推進

## —財団・友愛婦人会・友愛学生部一体で—

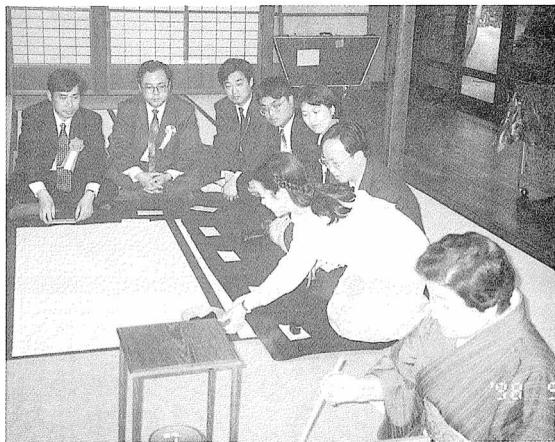
## 南京市青年連合会代表団訪日

静

いてパキスタンの核実験があり、インドネシアでは、経済の混乱・政情の不安定から暴動が起きた。わが国でも不況は、一段と深刻になりました。失業率も四、一パーセントを超えた。少し思ひ過ごしかもしれないが、どうも世の中は、暗くなる一方なのではないか、という気がする。ある新聞社の世論調査によれば、日本が悪くなる方向に進んでいると答えた人は、約七〇パーセントにもなるという。

♥思えば、地下鉄サリン事件や神戸の少年による殺人事件の記憶も新しいが、それをつい忘れてしまくらい、次々と悪質な犯罪が発生している。これらのすべてが関連しているなどとこじつけるつもりはないが、しかしどこかに、この状況を引き起こしている「共通要因」があるようと思う。♥結論的に言えば、「自己の尊厳」を見失ってしまった社会に変質したことからである。したがって「他」を顧みることができなくなり、すべての循環が狂ってしまったのである。相互尊重・相互信頼・相互扶助の精神が無いのである。言葉では簡単なようだが、この実践は容易ではない。しかし、この「友愛の精神」の回復と実現こそ、今日の閉塞した社会状況を転換できる大きな鍵ではないかと思う。♥政治や社会を語る前に、まず家庭を自己」と、身近なところでの「友愛とは何か」をあらためてかみしめ、具体的な行動に移していくべきではないかと考えている。

## 日本文化「茶道」を体験する代表団



なごやかな「友愛交流」

庭園での記念撮影を済ませた後、友愛婦人会の協力の中、種田副会長による「茶道」の体験をした。王團長以下、「茶道」は初めてなので少々戸惑つてはいたが、しかし、日本文化に親しんだようであつた。代表団の皆様も、婦人会の温かいもてなしに非常に感激し、しばしば「謝々」を連発していた。

夜は、総勢五〇名を超える熱気で、「離れ」のクーラーも効かないくらいで、種田副会長、倉林副会長、川内議員、近藤議員、酒井事務局長、川手館長からの熱烈な歓迎の挨拶がある合間に、鄭宇さんの見事な揚琴の調べと歌があつた。そのせいか、一段と友好の雰囲気も盛り上がり、形式ばらない真の日中交流も、また日本人同士の交流もできた。まさに「老・壯・青」の友愛交流であった。今回の記念にと友愛婦人会の大川米子氏より「手づくりのお手玉」をお渡ししたところ、中国の皆さんは大喜んでくれた。

近いうちの再会を約しての「再見」で、「お開き」となった。

日本側の主な役員出席者名簿  
(順不同・敬称略)

- 王根宝團長(南京市青年連合会副主席)・劉以安(同常務委員・南京師範大学研究員)・曲征宇(同常務委員・南京市青少年宮主任)・婁學全(中華全國青年連合会委員・南京長江大橋建設副指揮長)・錢建寧(南京市青年連合会委員・同市財政局処長)・干昕(同青年連合会常務委員・弁護士・女性)・孫曼(南京市人民政府・通訳・女性)

南京市青年連合会代表団名簿

- 王根宝團長(南京市青年連合会副主席)・劉以安(同常務委員・南京師範大学研究員)・曲征宇(同常務委員・南京市青少年宮主任)・婁學全(中華全國青年連合会委員・南京長江大橋建設副指揮長)・錢建寧(南京市青年連合会委員・同市財政局処長)・干昕(同青年連合会常務委員・弁護士・女性)・孫曼(南京市人民政府・通訳・女性)

八月一日～八月三〇日

**鳩山薰写真展開催**

一郎先生を支え、  
女子・社会教育に心血を注いだ、友愛の母「、鳩山薰」写真展が来る八月一日より三〇日まで鳩山会館で開催

書・同青木敏明秘書・平山行雄(修養団)・矢野方樹(友愛学生部代表・東大)・伊藤悠一(早大)・正虎(同)・足達弘(慶大)・細谷鍊太(中大)・木健一(東大)・安実(東京女子大)・荒西忠康(一橋大)他学生部諸君約三十名(OB含む)・鄭宇(揚琴演奏家)・宮川博史(弁護士)。なお、詳しくは「南報告書」に記載。

王團長と川手館長が「友愛」の固い握手

## 鳩山会館の御案内



最近では東京の「桜とバラの最高の名所」と呼ばれています。一郎先生、薰先生、威一郎先生のお人柄にふれながら、美しい庭園で多くの人が心の休息をとっています。

開館時間：10:00～16:00/休館日：月曜日  
会館事務局：TEL 03-5976-2800  
FAX 03-5976-1800  
〒112-0013  
東京都文京区音羽1-7-1

## ○入館料

大人	500円
学生(高校生、大学生など)	300円
小・中学生	200円
団体割引 20名以上入館料10%割引	

## ○交通案内

- 地下鉄をご利用ください  
 ●有楽町線 江戸川橋駅下車 徒歩7分  
 ●〃 護国寺駅下車 徒歩8分

※詳しくは、会館事務局までお問い合わせ下さい。

平成10年度 文部大臣奨励賞  
**友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール**

趣旨 ドイツ歌曲を通じて、一般青少年の音楽文化に対する涵養を促進し、音楽文化の振興を図る。

期日 平成10年11月20日(金)本選

場所 奏楽室(東京都台東区上野公園)  
外務省、文部省、オーストリア大使館、ドイツ連邦共和国大使館、社団法人日本演奏連盟など

詳しくは財団事務局まで



1998年(平成10年)6月10日



鳩山由紀夫・邦夫代議士を囲んで  
鳩山一郎総理によつて「友愛」  
が生まれたのは、昭和二八年(一  
九五三年)だが、去る二月一七日  
(火)に、その「友愛」出身の國  
會議員等による「OB会」が、鳩  
山会館で開催された。これは、川  
手正一郎鳩山会館館長の呼びかけ  
によるもので、当日は、渡部恒三  
衆議院副議長、加藤六月元農水大  
臣、三塚博前大蔵大臣、石田勝之  
衆議院議員、小川勝也参議院議員、  
尾形智矩元衆議院議員、奥田吉郎  
前島市長、鶴巻克雄国際歯科医  
師会会长の方々をお招きした。ホ  
スピ側として、鳩山安子鳩山会館  
館主(財団理事長)、鳩山由紀夫、  
鳩山邦夫両代議士が出席し、懐か  
しい話題から昨今の政治状況まで  
を、和やかに歎談した。中国・二  
胡の優雅な調べもあってか、まさ  
に「同窓会」そのままのひととき  
であった。

二月二八日付の『読売新聞』は、  
渡部副議長の「鳩山一郎先生は大  
したもんだ。(亡くなつて)何十  
年もたつて、おや?と思わせるメ  
ンバーを集めるんだからな」との  
コメントを載せた。さらに同紙は  
「元総理の『友愛精神』のお陰で、  
出席者は与野党の垣根と政敵同士

の恩讐をつかの間忘却させた」と  
結んだ(「鳩山一郎『友愛』の求  
心力」)。さらに当日出席された  
石田勝之議員は『日経新聞』に、  
御自身の「友愛」との縁を述べな  
がら、「鳩山家には、それぞれの  
意思を尊重する『友愛の精神』が  
脈々と流れているのかもしれない」と  
の名エッセイを載せた(同紙三  
月三日付「交遊抄」)。「鳩山家の  
元の元の事」



懐かしき“友愛学校”の同窓会



事務局便り

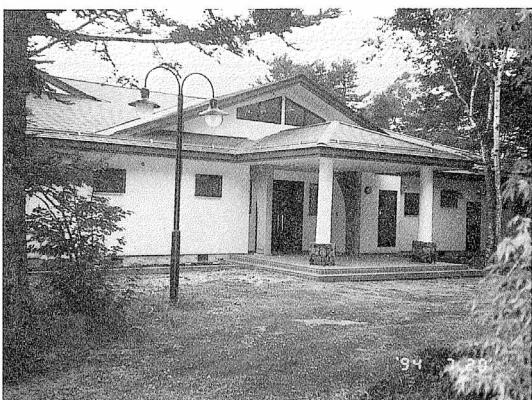
「自己の信ずるところに向  
かって邁進せよ。自信力を持  
て。自己の長所を生かして、時に  
野卑な部分のみを修正し、切  
り捨てよ」父は、私たちと遊  
んでくれる合い間に、時に  
こういって私たちを訓育し  
ました。

(鳩山一郎著『私の信条』より)



## 軽井沢友愛山荘のご案内

軽井沢友愛山荘は、戦後、公職追放中の故鳩山一郎先生が、晴耕雨読された地に建てられたものです。現在の施設は、新築されたもので、皆さまの保養施設として、また研修施設として広くご利用頂けます。(冬季もご利用が可能になりました)



○利用料金：一部屋の利用人数により利用金が変わります  
和室(10畳) 3~4名利用の場合 4,400円  
洋室(TWIN) 2名で利用の場合 7,000円  
食事代：朝食1,000円 夕食2,000円  
テニスコート利用料3,000円より

○施設案内：収容最大人数約55名  
宿泊室 和室7室 洋室2室  
テニスコート 1面(全天候型)  
研修室 1室(食堂と兼用)

詳しくは(財)日本友愛青年協会へ  
TEL 03-5684-3188 FAX 03-5684-3186

## BREAKTHROUGH INNOVATORS



NISSEI  
CORPORATION

ニッセイ株式会社

本社：東京都千代田区外神田4-5-4 〒101-0021  
TEL. 03-3253-7581